

Ⅱ 事例研究

2 青少年の参画を目指す活動事例

青少年の新たな可能性を引き出すために ～栃木県総合教育センターの挑戦～

青少年の地域活動、体験活動のリーダーを養成するため、自らプログラムを企画し実際の活動に参加するなど、演習を中心とした実践的な研修プログラムを展開

関わっている人<幼児、小学生、高校生、大学生、青年>



☆活動名 ウィークエンド青少年セミナー

【活動の趣旨】 青少年の地域社会における役割、体験活動に関する基本的知識や技術、地域活動の企画から運営等について、体験的な学習をすることで、21世紀を担う青少年地域リーダーの実践力の向上を目指している。

【連携】 宇都宮大学、県内青少年施設 等

【対象・条件】 県内の地域活動、体験活動に関心のある高校生、大学生、青年等 平成16年度受講者40名

【始めるきっかけ】 栃木県総合教育センターでは、平成12年度まで「青年フレッシュアカデミー」の研修名で主に大学生以上の青年を対象とした研修を実施してきたが、高校生も地域活動、体験活動に強い関心を示すようになった。そこで、平成13年度からは「ウィークエンド青少年セミナー」に改め、宇都宮大学の授業（社会教育演習：廣瀬隆人教授）との連携を図りながら、高校生も対象として体験的学習を中心とした研修を展開している。

【広報のしかた】 県内高等学校、大学及び関係機関に開催要項を配布し、募集する。

【活動内容】 まず、自らの意思で参加することから始まり、企画・実施に至るまでを子どもたち自身の手で、試行錯誤を繰り返しながらやり遂げている。

平成16年度研修プログラム

回	期日・曜日	内 容	講 師
1	6/13 (日)	開講式 体験「ゲームで自己紹介」 講話「求められる体験活動」 実技「体験活動の裏技」	総合教育センター職員 宇都宮大学教授 廣瀬 隆人 日本レクリエーション協会 インストラクター 野原 裕
2	6/27 (日)	演習「チャレンジNOW①」 ーさあ、計画を立てようー	宇都宮大学教授 廣瀬 隆人 総合教育センター職員
3	7/4 (日)	演習「チャレンジNOW②」	宇都宮大学教授 廣瀬 隆人 総合教育センター職員

		ーこれで準備はOKー	ター職員	ター
4	7/17 (土)	体験活動「チャレンジNOW③」 ー実践！学びの杜の夏休みー	宇都宮大学教授 廣瀬 隆人総合教育センター職員	
5	7/22 (木)	講話「ボランティアの心」 演習「次の活動に生かすために」 閉講式	宇都宮大学教授 廣瀬 隆人総合教育センター職員	
6	8~11月	体験活動 「新たなチャレンジ」	県内青少年関連施設職員	

☆総合教育センター開放事業『学びの杜の夏休み』での実施プログラム

- パズルどうでしょう（箱を組み合わせ、人気アニメキャラクターを完成する）
- 夢をのせて大空へ飛び立とう（遠くへ飛ぶ紙飛行機を工夫しながら製作する）
- よん様の創作教室（空き缶、ペットボトルなど身近な物を使って、作品をつくる）
- オリジナルうちわで夏を涼しく！（牛乳パックで、独自のうちわや万華鏡をつくる）
- アクセサリーやストラップをつくろう！（ペットボトル、ビーズ、木の実等を使って、ブレスレットやストラップをつくる）
- チャレンジ魂（ゲーム形式で、けん玉、ベーゴマ、メンコ等の遊びを体験する）

【成果と課題】 体験的内容を重視し、実際の活動を想定した研修を実施しているため、これから必要となるリーダーとしてのスキル（企画力、実践力等）を楽しみながら習得することができた。各市町村教育委員会に研修修了生を報告し、各地域での活躍の機会の提供を呼びかけているが、実際にはその活用に至っていない。今後、修了者が最初の一步を踏み出すまで、どのようにフォローしていくかが課題となる。

☆これから始める人へのメッセージ

最初の一步を踏み出せば、活動の夢はどんどん広がる！

栃木県総合教育センター

代表者 佐藤 信勝（所長）

所在地 〒320-0002
宇都宮市瓦谷町 1070 番地

電話/FAX 028-665-7206 / 028-665-7219

E-mail rainbow@tochigi-c.ed.jp

U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>

